

平成 30 年度 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目 25 番 12 号

公益財団法人東京二期会

平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 公益目的事業 1

1-1 オペラ公演

1-1-1 オペラ自主公演 (主催事業)

■ 二期会ニューウェーブ・オペラ劇場

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル作曲『アルチーナ』(新制作)

オペラ全 3 幕 日本語字幕付イタリア語上演

平成 30 年 5 月 19 日、20 日 めぐろパーシモンホール大ホール (2 回)

指揮：鈴木秀美

演出：エヴァ・ブッフマン

合唱：二期会合唱団

管弦楽：ニューウェーブ・バロック・オーケストラ・トウキョウ (NBO)

公演監督：大島幾雄

助成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、

公益財団法人野村財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

協賛：ダイドー株式会社

主催：公益財団法人東京二期会 共催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

後援：オランダ王国大使館

入場料金：S10,000 円、A9,000 円、B8,000 円、学生席 2,000 円

入場者数：1,469 名 (入場率 69.7%) チケット販売枚数：1,289 枚

これまでのこのシリーズは邦人演出家による舞台が続いていたが、昨今の舞台芸術をとりまく国際化事情を加味し、ブッフマン氏及び氏の率いるプランナー陣を招聘しての新制作を行った。バロックオペラの大規模公演という点が来場動機となる層も見られ、団体としての幅広いレパートリーをアピールすることが可能となった。また、弊財団公演として初めての会場となったが、地域や会場との連携により、今後につながる公演であった。

■ 東京二期会オペラ劇場 / デンマーク王立歌劇場とアン・デア・ウィーン劇場との提携公演

ジャコモ・プッチーニ作曲「三部作」『外套』『修道女アンジェリカ』『ジャンニ・スキッキ』(新制作)

オペラ各 1 幕 日本語字幕付イタリア語上演

平成 30 年 9 月 6 日、7 日、8 日、9 日 新国立劇場オペラパレス (4 回)

指揮：ベルトラン・ド・ビリー

演出：ダミアノ・ミキエレット

合唱：二期会合唱団、新国立劇場合唱団、藤原歌劇団合唱部

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

公演監督：牧川修一 公演監督補：大野徹也

助成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、

公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団、

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

協賛：株式会社メニコン、ダイドー株式会社、日鉄住金テックスエンジ株式会社、

株式会社東北新社、みずほ証券株式会社、日興アセットマネジメント株式会社

主催：公益財団法人東京二期会

共催：公益財団法人新国立劇場運営財団、公益財団法人日本オペラ振興会

後 援：イタリア文化会館

入場料金：(6, 8, 9 日) S17,000 円、A14,000 円、B11,000 円、C8,000 円、D5,000 円、

学生席 2,000 円

(7 日平日マチネ・スペシャル) S15,000 円、A12,000 円、B10,000 円、C8,000 円、D5,000 円、

学生席 2,000 円

入場者数：4,982 名 (入場率 69.3%)

チケット販売枚数：4,421 枚

新国立劇場、日本オペラ振興会との三団体共催公演の初回として、3つの合唱団が同じ舞台に立つという画期的な公演となった。初演から100年という記念年の上演に加え、世界の主要歌劇場での登場が続く指揮者と演出家の初めての協働は非常に注目を浴びた。東京完成版とも呼ぶべき水準での上演で、舞台、音楽いずれもが総じて高い評価を受けた。

■ 東京二期会オペラ劇場

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲『後宮からの逃走』(新制作)

オペラ全3幕 日本語字幕付ドイツ語上演

平成30年11月22日、23日、24日、25日 日生劇場(4回)

指 揮：下野竜也

演 出：ギー・ヨーステン

合 唱：二期会合唱団

管弦楽：東京交響楽団

公演監督：佐々木典子

助 成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、東京都・東京芸術文化創造発信事業

協 賛：ダイドー株式会社、日鉄住金テックスエンジ株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、上野トランステック株式会社、株式会社キンカン

主 催：公益財団法人東京二期会 共 催：公益財団法人ニッセイ文化振興財団【日生劇場】

後 援：ベルギー王国大使館

入場料金：S15,000 円、A13,500 円、B9,000 円、学生席 2,000 円

入場者数：2,835 名 (入場率 57.4%)

チケット販売枚数：2,251 枚

演出家、舞台美術家が日本に長期滞在して新たに創り上げる、まさに東京から発信する舞台となった。作品の鍵を握るセリムに大和田伸也氏を迎えたことで各方面への露出も多くなり、注目を集める公演であった。日生劇場によるモーツァルトシリーズの一環として、上演機会にあまり恵まれないこの作品の魅力を十二分に伝える舞台となった。

■ 東京二期会オペラ劇場 / フランス国立ラン歌劇場との共同制作

黛 敏郎作曲『金閣寺』(新制作) オペラ全3幕 字幕付ドイツ語上演

平成31年2月22日、23日、24日 東京文化会館大ホール(3回)

指 揮：マキシム・パスカル

演 出：宮本亜門

管弦楽：東京交響楽団

公演監督：大島幾雄

助 成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、都民芸術フェスティバル2019参加、公益財団法人五島記念文化財団

協 賛：株式会社メニコン、ダイドー株式会社、日鉄住金テックスエンジ株式会社、株式会社東北新社、みずほ証券株式会社、日興アセットマネジメント株式会社

主 催：公益財団法人東京二期会、公益社団法人日本演奏連盟

後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本
山中湖村教育委員会・山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

入場料金：S15,000円、A13,500円、B10,000円、C8,000円、D6,000円、E2,000円、
学生席2,000円

入場者数：5,058名（入場率73.2%） チケット販売枚数：4,395枚

弊財団が満を持して上演する邦人作品、かつ弊財団として初めてフランスの歌劇場との共同制作であった。三島由紀夫、黛敏郎という二人の天才に宮本亜門氏が挑んだこの舞台はフランス初演から衆目を集め、話題性も抜群の公演となった。

また、文学の観点からの関連企画等、オペラの多彩な楽しみを演出することもできた。日仏両国で共通して出演した所属歌手もあり、このような形での共同制作が今後も継続していくよう努めていく。

1-1-2 オペラ共同制作公演

■ グランドオペラ共同制作 / ローマ歌劇場との提携公演

ジュゼッペ・ヴェルディ作曲『アイダ』（新制作）オペラ全4幕 日本語字幕付イタリア語上演
平成30年10月7日、8日 札幌文化芸術劇場 hitaru（2回）

平成30年10月20日、21日 神奈川県立県民大ホール（2回）

平成30年10月24日 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール（1回）

平成30年10月28日 iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ（1回）

指揮：アンドレア・バッティストーニ

演出：ジュリオ・チャバッティ

原演出：マウリツィオ・ディ・マッティア

合唱：二期会合唱団、札幌文化芸術劇場アイダ合唱団（札幌公演）、
ひょうごプロデュースオペラ合唱団（兵庫公演）

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団（神奈川、兵庫、大分公演）、札幌交響楽団（札幌公演）

助成：文化庁劇場・音楽堂活性化事業 共同制作支援事業

主催：公益財団法人東京二期会、公益財団法人札幌市芸術文化財団（札幌文化芸術劇場 hitaru）、
公益財団法人神奈川芸術文化財団（神奈川県民ホール）、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター、
公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団（iichiko 総合文化センター）、
公益財団法人札幌交響楽団、公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団

入場料金：札幌 S16,000円、A14,000円、B10,000円、C8,000円、D5,000円、U25シート3,000円
神奈川 S16,000円、A13,000円、B10,000円、C8,000円、D5,000円、E3,000円
兵庫 A12,000円、B9,000円、C7,000円、D5,000円、E3,000円
大分 GS13,000円、S11,000円、A9,000円、B7,000円、C5,000円、D3,000円

入場者数：札幌 4,188名（入場率 98.4%）
神奈川 3,936名（入場率 80.9%）
兵庫 1,997名（入場率 99.8%）
大分 1,702名（入場率 94.7%）

国内共同制作として4会場6公演という大規模な舞台であった。柿落とし公演となった札幌をはじめ、いずれの会場でも満席となり、各地でこの公演への期待の高さがうかがえたものであった。

オーソドックスな舞台は、ヴェルディ演奏に定評のあるバッティストーニ氏の音楽も相まって、オペラ鑑賞の裾野を拓けるといった観点で成果をあげたものであった。

1-2 演奏会

1-2-1 演奏会自主公演

■二期会サロンコンサート (5回)

平成30年7月12日、11月1日、12月13日、平成31年1月24日、3月14日
カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

入場者数：合計533名 (平均入場率82.0%) チケット販売枚数：579枚

■第12回二期会研究会駅伝コンサート (1回)

平成30年7月29日 東京文化会館小ホール

入場者数：合計447名 (入場率68.8%) チケット販売枚数：478枚

■二期会サマーコンサート2018 (2回)

平成30年8月23日、24日 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

入場者数：合計993名 (平均入場率67.5%) チケット販売枚数：1,069枚

■二期会サミットコンサート (1回)

平成30年8月26日 東京文化会館小ホール

入場者数：合計409名 (入場率63.0%) チケット販売枚数：588枚

■二期会新進声楽家の夕べ (1回)

平成30年9月13日 東京文化会館小ホール

入場者数：合計413名 (入場率63.6%) チケット販売枚数：436枚

1-2-2 文化庁受託公演

■ 東京二期会オペラ劇場 / ハンブルク州立歌劇場との共同制作

カール・マリア・フォン・ウェーバー作曲『魔弾の射手』(新制作)

オペラ全3幕 日本語および英語字幕付ドイツ語歌唱、日本語台詞上演

平成30年7月18日、19日、21日、22日 東京文化会館大ホール (4回)

指揮：アレホ・ペレス

演出：ペーター・コンヴィチュニー

合唱：二期会合唱団

管弦楽：読売日本交響楽団

公演監督：多田羅迪夫

助成：文化庁戦略的芸術文化創造推進事業

「日本のオペラから世界のオペラへ ～2018年から2020年を経てその先へ～」

協賛：ダイドー株式会社、日鉄住金テックスエンジ株式会社、株式会社東北新社、

みずほ証券株式会社、日興アセットマネジメント株式会社

後援：アルゼンチン大使館

協力：東京ドイツ文化センター

主催：公益財団法人東京二期会

入場料金：(18, 21, 22日) S15,000円、A13,000円、B10,000円、C8,000円、D6,000円、
学生席2,000円

(19日平日マナー・ス^oシャル) S13,500円、A12,000円、B10,000円、C8,000円、D6,000円、
学生席2,000円

入場者数：5,636名 (61.2%) チケット販売枚数：4,966枚

ペーター・コンヴィチユニー氏の傑作と名高い舞台を、氏の長期に渡る直接的指導のもと上演した。日本語による台詞や悪魔ザミエルへの大和悠河氏の起用等、様々な点で深化させたプロダクションとなり、各方面から注目を集めるものとなった。国内外からの評の掲載等、複数年の戦略的芸術文化創造推進事業の一環のとして、初年度に国際発信力を高めるという点で成果のあがった事業であった。

■ 平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業

福島県および埼玉県を中心とした小・中学校（13 校）でワークショップと合唱公演を行なった。

10 月 9 日	福島県いわき市立中央台南小学校
10 月 10 日	福島県西郷村立羽太小学校
10 月 11 日	福島県二本松市立二本松第三中学校
10 月 12 日	福島県伊達市立霊山中学校
10 月 15 日	福島県郡山市立朝日が丘小学校
10 月 16 日	福島県二本松市立新殿小学校
10 月 17 日	福島県福島市立中野小学校
10 月 18 日	山形県米沢市立第三中学校
10 月 19 日	山形県最上町立赤倉小学校
10 月 23 日	群馬県みどり市立大間々中学校
10 月 24 日	埼玉県東松山市立大岡小学校
10 月 25 日	埼玉県入間市立狭山小学校
10 月 29 日	栃木県佐野市立氷室小学校

1-3 オペラ講座の開催

青島広志氏を講師に迎えオペラの魅力を説く講座（1 回）

後宮からの逃走～オペラの東洋趣味～

平成 30 年 7 月 31 日

日暮里サニーホール

入場者数： 188 名（入場率 46.9%）

チケット販売枚数：173 枚

1-4 二期会通信の発行

「二期会通信」を年 4 回（6 月 1 日、9 月 1 日、12 月 1 日、3 月 1 日）発行した。

合計 72,000 部発行

1-5 事業資金確保のための寄付金活動

民間からの寄付として、法人賛助会、個人賛助会、特別寄付金を募った。

- ・法人賛助会 51 会員
- ・個人賛助会 123 会員
- ・寄付金 27 名、3 団体

2. 公益目的事業 2

2-1 オペラ歌手の養成

2-1-1 二期会オペラ研修所

予科：在籍修了者数	46名	基礎音楽表現、演技表現の修得を目的とした。
本科：同	44名	より高度な音楽表現、演技表現の修得を目的とした。
マスタークラス：同	43名	オペラ舞台上の総合表現力の修得を目的とした。

2-1-2

- ・第95回二期会オペラ研修所コンサート

平成30年11月16日(1回) 北とぴあさくらホール

共催：公益財団法人北区文化振興財団、東京都北区

入場者数：638名(入場率49.1%) 販売枚数：361枚

予科、本科、マスタークラス在籍生の中から、成績優秀者(20名)が選ばれ成果を披露した。
今年度は、北区区民197名を招待した。

- ・二期会モーニング ディーヴァ、ディーヴォ

平成30年9月27日、11月8日、平成31年1月24日(3回) Hakuju Hall

主催：Hakuju Hall、株式会社白寿生科学研究所

マスタークラスを修了した中から、成績優秀者(各回2名の合計6名)が出演した。
お昼に行なうワンコイン(500円)コンサート。

2-1-3 インターン制度

研修所マスタークラスを優秀な成績で修了した者の中から選考した者を、本公演のアンダースタディに指名して、公演制作現場で一層の研鑽を積ませることを目的としている。研修所所長が指名し、オペラ企画委員会に承認を得る。

研修演目：『魔弾の射手』 牧野元美(アガーテ)、横山由衣(エンヒェン)

プッチーニ「三部作」内田千陽(外套*ジョルジュッタ)

徳山奈奈(修道女アンジェリカ*アンジェリカ)

金見美佳(ジャンニ・スキッキ*ラウレッタ)

『後宮からの逃走』 澤原行正(ベルモンテ)

2-1-4 表彰

川崎静子賞：第62期マスタークラス 雨笠佳奈

渡邊高之助賞：第63期本科 宮脇 臣

3. 収益事業等

3-1 共益事業

3-1-1 会員・研究会・リサイタル公演（18件）

平成30年

4月8日	青薔薇海賊団陽春コンサート	よみうり大手町ホール
6月1日	二期会日本歌曲研究会演奏会	渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール
6月26日	清水華澄リサイタル	紀尾井ホール
9月5日	第32回岸本力バスリサイタル	東京文化会館小ホール
9月14日	二期会ロシア歌曲研究会演奏会	東京文化会館小ホール
9月20日	二期会イタリア歌曲研究会演奏会	東京文化会館小ホール
10月7日	望月哲也・宮本益光ジョイントリサイタル	トッパンホール
10月13日	二期会バッハ・バロック研究会コンサート	ハクジュホール
10月26日	松村英行テノールリサイタル	サントリーホールブルーローズ
11月7日	中屋早紀子メゾソプラノリサイタル	よみうり大手町ホール
11月10日	日野妙果メゾソプラノリサイタル	音楽の友ホール
11月17日	松下妙子ソプラノリサイタル	王子ホール
11月18日	豊田喜代美ソプラノリサイタル	サントリーホールブルーローズ
11月24日	前中榮子ソプラノリサイタル	王子ホール
12月1日	佐々木典子ソプラノリサイタル	王子ホール
12月10日	樋口達哉テノールリサイタル	王子ホール

平成31年

1月6日	青薔薇海賊団新春コンサート	浜離宮朝日ホール
2月25日	東京ミニオペラカンパニー	東京文化会館 小ホール

3-1-2 演奏会請負事業（全11回）

「あいさつ運動の展開－音楽劇」（7回） 主催：東京都青少年・治安対策本部

6月9日	世田谷区尾山台小学校	／	6月9日	日野市日野第七小学校
7月3日	瑞穂町瑞穂第一小学校	／	7月7日	葛飾区道上小学校
8月30日	羽村市栄小学校	／	9月3日	八王子市上柚子小学校
11月19日	練馬区練馬東小学校			

「子供に万引きをさせないキャンペーン取組推進モデル地区活動－音楽劇」（4回）

主催：東京都青少年・治安対策本部

9月10日	西東京市立本町小学校	／	9月21日	西東京市立栄小学校
10月6日	西東京市立田無小学校	／	10月15日	西東京市立中原小学校

3-1-3 二期会会報の発行

「二期会会報」を年4回（6月1日、9月1日、12月1日、3月1日）発行した。

合計12,000部発行

3-1-4 二期会会員異動状況

平成 29 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,231 名／準会員 462 名	計 2,693 名
平成 30 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,256 名／準会員 459 名	計 2,715 名
平成 31 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,301 名／準会員 448 名	計 2,749 名
		(増減 + 45 名／ - 11 名)	計 +34 名)

4. 法人概要

4-1 理事会

・第 27 回

平成 30 年 6 月 7 日	平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認	可決
	平成 29 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び 附属明細書並びに財産目録の承認	可決
	平成 30 年度文化庁予算確定による本年度財産予算執行に ついて	報告

・第 28 回

平成 30 年 6 月 21 日	理事長（代表理事）及び常務理事の選任	可決
	評議委員会の体制について（評議員会議長の提案）	可決

・第 29 回

平成 31 年 3 月 27 日	平成 31 年度事業計画書の承認	可決
	平成 31 年度正味財産増減予算書、資金調達及び設備投資の 見込みについての承認	可決
	二期会オペラ研修所企画委員の選出	可決
	二期会グループ新ロゴ承認の件	可決
	二期会オペラ役員参集日	報告
	『Great Voice Dinner』開催結果について	報告
	支援、協賛状況について	報告
	二期会オペラセット券について	報告

4-2 評議員会

・第 13 回

平成 30 年 4 月 9 日 (決議の省略による)	理事の選任について	可決
-------------------------------	-----------	----

・第 14 回

平成 30 年 6 月 21 日	議事録署名人の選出	可決
	平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認	可決
	平成 29 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び 附属明細書並びに財産目録の承認	可決
	理事及び監事の選出の件	可決

・第 15 回

平成 30 年 6 月 21 日 (決議の省略による)	評議員会議長の選出	可決
--------------------------------	-----------	----

平成 30 年度事業報告 附属明細書

平成 30 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 6 月
公益財団法人東京二期会